

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	182	男女共同参画講座事業経費	コード	01	一般	
基本施策	41	あらゆる場に男女がともに参画する社会をつくる。	款	02	総務費	
担当部課名	男女共同参画課		項	01	総務管理費	
作成者氏名	深尾 千恵	連絡先	22-9632	目	19	男女共同参画費
				細目	101	男女共同参画推進経費
				細々目	03	男女共同参画講座事業経費

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を) 伊賀市民	成果(どうなるのか) 小さい単位での積み重ねで市民の意識改革を図り、少しずつ男女共同参画社会に変わっていく。				
本年度事業内容	大山田支所を除く5支所と本庁との共催により、男女共同参画のまちづくりを市とともに推進する人材(パートナー)を育てることを目的に「参画パートナー」楽習を8月6日、20日に開催。					
開始年度	平成	年度	終了年度	平成	年度	根拠法令・要綱等

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員	正規職員 (人)	0.8	0.8	0.9
	人件費合計(A)	5,760	5,760	6,480
②支出内訳(千円)	事業費(B)	84	151	185
	委託料			
	報償費	73	120	120
	旅費		24	50
	その他	11	7	15
合計(A+B)		5,844	5,911	6,665
③財源内訳(千円)	特定財源			
	国県支出金			
	地方債			
	受益者負担			
	一般財源	5,844	5,911	6,665
上記①～③に関する特記事項 各支所の男女共同参画担当者の協力有り。				

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
講演会参加者 (17年度はリーダー育成講座)	人	延べ40	250	300			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
アンケート調査	「男は仕事」「女は家事・育児」とい思わない市民意識の割合	%	39.6 目標 (50)	50	50超
参加人員の数および層	リーダー育成の研修だったため、参加者が少なかったが、内容の充実した研修だったので、周囲に向け発信してくれる	人	延べ40 目標 (60)	250	300

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

伊賀市全域にわたり小さな単位で講演会・研修会等を実施し、市民の意識改革を図る。参加者が固定しないように内容に工夫し、男女共同参画社会に関心のなかった人々の意識を少しずつ変えていく。
--

評価	必要性	4	市民全体の意識改革を図る上でも、小さな単位で中広く濃い講座を開催必要。拡大していく。	総合評価
	有効性	4		A
	達成度	4		
	効率性	3		